

2026 年 9 月 10 日



おめでとうございます！

元 IFReC 招へい教授の 服部有宏氏(本学薬学部卒業)らがラスカー賞を受賞

❖ 概要

大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC)に 2017 年から 2024 年まで招へい教授として在籍した服部有宏(はっとり くにひろ)氏(元中外製薬株式会社 シニアフェロー)が、米国の「ラスカー・ドゥベキー臨床医学研究賞」(以下、ラスカー賞)を受賞しました。服部有宏氏は、本学薬学部・大学院薬学研究科の卒業・修了生でもあり、1996 年に本学大学院薬学研究科にて博士(薬学)の学位を取得しています。



服部 有宏(はっとり くにひろ)氏
(写真提供:中外製薬株式会社)

ラスカー賞は、アメリカのラスカー財団によって運営される国際賞で、臨床医学研究賞は多くの人々の治療に貢献する画期的な進歩をもたらした人物に授与されます。過去の実賞者の多くがノーベル賞の実賞にも輝いています。本年は「血友病 A 治療のための二重特異性抗体」の業績で、服部有宏氏、北沢剛久氏(中外製薬株式会社 研究本部副本部長)、井川智之氏(中外製薬株式会社 研究本部長)の 3 名が選出されました。

服部有宏氏は、IFReC はもとより、医学系研究科等との共同研究においても多大なるご尽力をいただきました。2017 年 4 月には中外製薬株式会社と本学との包括連携契約を締結し、その後は IFReC 免疫創薬共同研究部門の招へい教授として、本学の研究・創薬シーズを医薬品への社会実装へとつなぐ産学共創の牽引役を担っていただくなど、大きなご貢献をいただきました。

【熊ノ郷 淳 総長のコメント】

このたび、本学卒業生であり、免疫学フロンティア研究センター招へい教授としてご尽力いただいた服部有宏先生が、世界的に権威ある「ラスカー・ドゥベキー臨床医学研究賞」を受賞されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

服部先生が血友病治療における長年の課題に対し、独創的な研究を実用化され、医療の発展に多大なる貢献をされたことに敬意を表します。

今後も先生のさらなるご活躍を祈念するとともに、本学は引き続き、世界に貢献する研究・教育を推進してまいります。

【坂口 志文 特別荣誉教授・IFReC 特任教授(常勤)のコメント】

服部有宏先生のラスカー賞受賞決定の報に接し、心よりお祝い申し上げます。

先生が新しい抗体技術を用いて血友病に対する抗体医薬を開発され、それが世界中で広く血友病治療に使われていることは、医療界における偉大な功績であり、深く敬意を表します。

この度のご快挙を重ねてお慶び申し上げますとともに、先生の今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

【審良 静男 栄誉教授・先端モダリティ・ドラッグデリバリーシステム研究センター(CAMaD)特任教授(常勤)・拠点長のコメント】

服部有宏様のラスカー・ドゥバーキー臨床医学研究賞のご受賞、心よりお祝い申し上げます。

IFReC への長年にわたる温かいご支援をはじめ、現在も当研究室との共同研究において多大な知見とご協力をいただいておりますことに、深謝申し上げます。

服部様の卓越した先見性と研究への熱意が結実されたことを大変嬉しく存じます。

今後ますますのご健勝と、共同研究を含めた更なるご隆盛を心より祈念申し上げます。

【小比賀 聡 大学院薬学研究科長・薬学部長のコメント】

このたびは、2026 年 ラスカー賞のご受賞、誠にめでとうございます。大阪大学大学院薬学研究科・薬学部を代表して、心よりお祝い申し上げます。

血友病 A に対する二重特異性抗体という革新的な治療コンセプトを創出され、それを実際の治療薬へと結実させ、多くの患者さんの治療を大きく変えられた先生方のご業績が、世界的に権威あるラスカー賞として高く評価されたことを、昨日の報道で知り大変嬉しく思いました。

先生が大阪大学薬学部のご出身であることは、私どもにとりまして大きな喜びであり、誇りでございます。薬学の研究成果が新たな治療法の創出につながり、世界中の患者さんに貢献するという、まさに薬学研究が目指すべき姿を先生が体現されたことは、現在本学で学ぶ学生や若い研究者にとっても、何より大きな励みになるものと思います。

これまで長年にわたり研究開発を積み重ね、この素晴らしい成果を成し遂げられましたことに、改めて深い敬意を表するとともに、先生の今後ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。